



地域の皆さまの健康をサポートいたします

院外広報誌

札幌清田病院だより

No.5
2016.8

発行
社会医療法人
札幌清田病院

緩和支援医療センター

緩和ケア病棟、緩和ケア外来、
地域医療連携室、
がん相談室

患者さんがその人らしく
過ごせる時間を
大切にします



茶話会で演奏する内科・リハビリテーション科の後藤義朗部長

社会医療法人
札幌清田病院
理念

良質な専門医療を提供して地域社会に貢献する。
個別性と継続性を尊重した思いやりのある医療をめざす。

緩和ケア病棟、緩和ケア外来、 地域医療連携室、がん相談室

患者さんがその人らしく 過ごせる時間を大切にします

札幌清田病院では2009年に「緩和ケア内科外来」と「緩和ケア病棟」を開設し、3年前に新病院となり、さらに本年4月には北海道がん診療連携指定病院の認定を受け、緩和支援医療センターとして緩和ケアの質の向上と提供体制の整備を進めています。がんに関連する、さまざまな苦痛症状や療養全般の問題に対応するために、専門スタッフがチームを組んで患者さんとご家族を支えています。

チームで提供する 専門的な緩和ケア

札幌清田病院では外来と病棟で、切れ目なく緩和ケアを提供しています。

「緩和ケア外来」では、がんと診断された時点からのケアも含め、積極的な治療を受けている患者さん、進行・終末期の患者さんの緩和ケアを行っています。心身のつらさを和らげ生活の質(QOL)を高め、がん治療全体の効果にプラスの作用を及ぼすことがあります。

全室個室の「緩和ケア病棟」では、積極的治療の適応がない患者さんに対しての緩和ケアを行っています。患者さんとご家族に寄り添い、個別性に配慮しながらQOLを支援するケアです。患者さんの『痛み・苦しみ』には「身体的」「心理的」「社会的」「スピリチュアル的」といった4つの側面があり、個々が互いに関連し合っていることから、担当医のみならず看護師、薬剤師、管理栄養士、理学療法士、作業療法士、ソーシャルワーカーなど異なる分野の専門家が協力し合う「緩和ケアチーム」が患者さんとご家族の意思を

尊重しながら、質の高い緩和ケアの提供を行っています。

地域に開かれた 緩和ケア病棟として

緩和ケア病棟への紹介患者さんは、基本的に週1回の緩和ケア病棟入棟会議で受け入れを検討しています。ベッドに空きがない場合は入棟まで一般病棟(個室)で緩和ケアを受けていただくなどの対応もしています。

また、患者さんやご家族が在宅療養を希望された場合は、「地域医療連携室」のソーシャルワーカーが地域の在宅診療クリニックと連携しながら迅速に対応しています。「がん相談室」では、がんの治療を安心して受けたいだけのように支援しています。

茶話会を開催しています

毎週火曜午後には生演奏を楽しむ茶話会を緩和ケア病棟のデイルームで開催。演奏は、内科・リハビリテーション科の後藤義朗部長と音楽療法士が隔週で担当しています。

後藤部長は「趣味の尺八とチェロで童謡や歌謡曲などを演奏しています。病室を出て、ご家族や医療者と一緒に過ごす時間を楽しいものにしたいと思っています」と話します。



カラオケや合唱も楽しめます



緩和ケア内科部長

こいけ かずひこ
小池 和彦

【専門】

緩和支援治療
臨床腫瘍
消化器病

【資格認定】

日本内科学会認定医
日本消化器病学会専門医
日本緩和医療学会暫定指導医



チーム力を高める牽引役

緩和ケア医

- 緩和ケア病棟医長 渡邊昭彦
- 緩和ケア内科部長 小池和彦
- 緩和ケア内科 西里卓次
- 内科・リハビリテーション科部長 後藤義朗

主治医の治療方針に沿って心身のつらい症状をコントロールします。チームの各メンバーから情報を得ながら、必要なサポート導入やフォローアップを依頼し、多面的な緩和ケアが提供できるように調整します。



看護師

患者さんがその人らしく生き、家族と共に良い時間を穏やかに過ごすことができますようにお手伝いいたします。全スタッフが一思いやりと丁寧さを入り口に、痛みや諸症状の緩和、日常生活のお世話などの看護を行っています。

管理栄養士

個別対応を充実させるため、オーダー食70品目を翌日提供できる体制を整えました。患者さんが気軽に選べるように写真付きオーダー表も作成しています。

薬剤師

アに生かせる工夫や最新の薬物療法の情報を提供できるように、学会や報告会に参加して学ぶことを大切にしています。

薬のプロとして情報を収集・提供



薬剤師 白石晃子

患者さんへの服薬指導や安全面の管理を行います。チームムンファレンスでは「薬のプロ」として、緩和ケ

札幌清田病院の緩和ケアチーム



緩和ケア病棟看護師長 工藤弘恵



栄養課課長 藤原朱美

食べたいものを選べる食事対応



カレーやラーメンのほか、すりおろしたとろろ、温泉玉子、茶碗蒸しなど70品目から選べるオーダー表

気兼ねなく家族との時間が持てる

緩和ケア病棟

20床
ペットも
入室OK



家族が気兼ねなく宿泊できるように、ソファがベッドになります



家族控室にはシャワーもあり宿泊も可能



季節を伝える病棟の飾りつけ



家族が調理できるファミリーキッチン



緩和ケア病棟の病室は一般病棟よりも広く作られています(当院は全室個室です)

北海道がん診療連携指定病院に認定



当院は、2016年4月1日付けで北海道知事から「北海道がん診療連携指定病院」の指定を受けました。「北海道がん対策推進計画」に基づき、国が指定する「がん診療連携拠点病院」に準じる病院として北海道が指定しているもので、2016年4月現在で25施設あります。

質の高いがん治療を提供するとともに、がん患者さんやご家族への相談支援、きめ細かい緩和ケアを行うなど、がん医療の向上に貢献できる体制を整えています。また、地域の医療機関との連携・協力のさらなる強化を目指しています。

緩和ケアの茶話会で活躍しているボランティアさん



難波則子さん

2011年秋から隔週で、緩和ケア病棟の茶話会をお手伝いしています。栄養科が作ってくれた手作りお菓子里に添えるコーヒータンや紅茶を入れたり、患者さんと一緒に合唱したりしながら一緒に1時間を過ごします。2週間に一度なので負担も少なく、私自身が楽しみながら通っています。



私たち札幌清田病院は医療による地域貢献に努めます

【基本方針】

1. 消化器病とがんの専門病院として診断から治療まで一貫した最良の医療を提供する。緩和ケア、在宅ケアを重視するとともに疾病の予防にも努力する。
2. 患者さんと家族の意志を尊重し、適切な情報提供によって患者さんを中心としたチーム医療の実現をめざす。
3. 地域の他医療機関と連携し、地域完結型の医療を志向し、地域社会の健康増進に貢献する。
4. 医療の質向上のため、職員の教育研修に努め、安全な医療サービスの提供体制を確立する。

【患者さんと家族の権利】

私たちは、当院に来院される患者さんと家族の方の、次の権利を尊重します。

1. 基本的人権と人格を尊重される権利
2. 思いやりのある、良質な医療を受ける権利
3. 適切な情報提供や十分な説明を受ける権利
4. 納得のもとに、検査や治療を受けるか受けないかを決定する権利
5. 健康であるために情報を求める権利

札幌清田病院への交通アクセス

●中央バス

JR 札幌駅 発	(80) 月寒本線 (85) (86) 清田団地線 (88) 真栄団地線	「清田団地入口」停車
中央バス 札幌ターミナル 発	(97) 千歳線・広島線 (96) 柏葉台団地線 (113) 大曲光線	
地下鉄南北線 平岸駅 発	(平50) 平岸線	
地下鉄東豊線 福住駅 発	(福80) 月寒本線 (福85・86) 清田団地線 (福87) 有明線 (福88) 真栄団地線 (福96・97) 柏葉台団地線 (福113) 大曲光線	「真栄」停車
地下鉄東西線 大谷地駅 発	(大87) 有明線 (大88) 真栄団地線	

外来診療時間のご案内

※受付は30分前から

診療科目		9:00	12:00	17:00
内科・消化器内科・ 腫瘍内科・血液内科・ リウマチ科	月～金	■	■	■
	土	■	■	
循環器内科	火・水・金	■	■	
呼吸器内科	第1・第3水			■
	第1・第3土	■	■	
外科・消化器外科・ 肛門外科・内視鏡外科	月～土	■	■	■

※緩和ケア内科については、お問い合わせください

【休診日】日曜日・祝日

※夜間・休日・時間外の急患は
当直医師により随時診療

【売店営業時間】
平日 8:45～17:30
土曜日 8:45～15:00



Quality of Life

社会医療法人 札幌清田病院

ホームページ <http://kiyota-hp.or.jp/>

〒004-0831 札幌市清田区真栄1条1丁目1番1号 TEL: 011-883-6111 FAX: 011-882-7477